

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8512  
 住 所 川崎市川崎区塩浜1-1-1  
 氏 名 プレス工業株式会社  
 取締役社長 美野 哲司  
 (代理人) 川崎工場長 山田 義明  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	プレス工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市塩浜1-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	31	輸送用機械器具製造業
主たる事業 の内容	自動車部品製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,312	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 5,271	(実) 5,200	(実) 4,198	(実)	(実) 5,113
	(調) 5,148	(調) 5,080	(調) 4,082	(調)	(調) 4,994
削減率		(実) 1.3%	(実) 20.4%	(実) %	(実) 3.0%
		(調) 1.3%	(調) 20.7%	(調) %	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	付加価値				原単位等の単位	t-CO2/百万円
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(年度)		
排出量原単位等の値	1.041	1.067	1.066		1.010	
活動量の値	5064	4871	3937		-	
排出量原単位等の削減率		-2.5%	-2.4%	%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	温室効果ガスの排出量については、特高変電所更新に伴うトランス更新、老朽設備を省エネタイプに更新等改善により電力使用量が低減したため基準年度と比較し排出量が減少した。原単位当たりの排出量結果は、客先生産変動による付加価値の高い輸出向製品が減少、台風被害と外的要因により付加価値が予測より大幅に下回ったため基準年度より悪化した結果となった。
第2年度	温室効果ガスの排出量については、コロナによる生産量減もあるが重油ボイラーを都市ガスボイラーに更新したことにより重油使用がなくなり基準年度と比較し排出量が減少した。原単位当たりの排出結果は、コロナの影響により付加価値の高い輸出向製品が大幅に減り、付加価値の低い国内向け中心の生産となったことにより付加価値が悪化し基準年度より下回った。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 照明設備の運用管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明のLED化推進</li> <li>・ 工場屋根の明りとり推進による照明設備間引き</li> </ul> </li> <li>2. 電動機設備の無負荷時消費電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空転防止・インバータ化の推進</li> </ul> </li> <li>3. 省エネ設備導入推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化設備更新に伴い省エネ設備導入</li> </ul> </li> <li>4. 主要設備等の保安全管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防保全による故障率低減に伴う設備停止時間低減</li> </ul> </li> <li>5. 外部診断の利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部省エネ診断を受診する</li> </ul> </li> </ol>
<p>第1年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 照明設備の運用管理による電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明のLED化実施</li> <li>・ 工場屋根の明りとり推進による照明設備間引実施</li> </ul> </li> <li>2. 電動機設備の無負荷時消費電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場建屋屋根 天井扇モーター1次側電源インバーター化実施</li> </ul> </li> <li>3. 省エネ設備導入による電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化設備更新に伴い省エネタイプ設備導入</li> </ul> </li> <li>4. 主要設備等の保安全管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防保全による故障率低減に伴う設備停止時間低減実施</li> </ul> </li> </ol> <p>【追加】6. 特高変電所更新による電量削減              ・ 特高変電所 主トランス更新(キュービクル化)3. プレス機</p> <p>【追加】7. キャラバン運転による電力削減</p>
<p>第2年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 照明設備の運用管理による電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明のLED化実施</li> <li>・ 工場屋根の明りとり推進による照明設備間引実施</li> </ul> </li> <li>2. 電動機設備の無負荷時消費電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場制御盤モーター制御をインバーター化実施</li> </ul> </li> <li>3. 省エネ設備導入による電力削減             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化設備更新に伴い省エネタイプ設備導入</li> </ul> </li> <li>4. 主要設備等の保安全管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防保全による故障率低減に伴う設備停止時間低減実施</li> </ul> </li> <li>5. 外部診断の利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部省エネ診断を受診</li> </ul> </li> </ol> <p>【追加】6. 重油ボイラー更新による重油使用量削減              ・ 重油ボイラーを都市ガスボイラーに更新実施</p>
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	工場屋根、本社屋上で検討した結果、強度不足
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積載率向上による輸送効率の向上</li> <li>2. 産業廃棄物の減量化、分別化の推進</li> <li>3. 従業員への環境啓発</li> <li>4. 構内におけるトラックのアイドリングストップ</li> </ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従業員への環境啓発</li> <li>2. 廃棄物の減量化推進</li> </ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従業員への環境啓発</li> <li>2. 廃棄物の減量化推進</li> </ol>
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	5,271 t-CO <sub>2</sub>	5,200 t-CO <sub>2</sub>	4,198 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	2,791 KL	2,774 KL	2,312 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
プレス工業株式会社	川崎市川崎区塩浜1-1-1	5,271	5,200	4,198	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度